

十五中のビオトープはすごいらしい

7月12日の全校集会で、本校のビオトープについて話をしました。



7月6日に、ビオトープ管理士の米本桂子さんという方にお越し頂き、十五中のビオトープを見て頂きました。

すると、15中のビオトープは、実はかなりすごいということがわかったので皆さんにもお知らせします。

米本さんは、1時間ほどざっと見て、29種類の陸上の植物と、12種類の水中の植物がいることがわかりました。さすが専門家ですね。

下がその一覧です。その他、生き物もたくさんいました。

一番左下の写真は、ギンヤンマのヤゴです。たくさんいました。よく見ると、植物の茎の水から出たところに、ぬけがらもたくさんありました。その辺を飛んでいるギンヤンマは、十五中ビオトープ出身かもしれませんね。

ビオトープ管理士さんに見て頂きました！

植物種 陸上29種類			水中12種類		
種名	原産地	原産国	種名	原産地	原産国
1. ササノコ	日本	16. 草薺	日本	アサギ	日本
2. 水苔	日本	17. ササユズ	日本	ヒメジョオン	日本
3. ヒメジョオン	日本	18. ヘクソカズラ	日本	シロバナ	日本
4. 水苔	日本	19. 草薺	日本	アサギ	日本
5. アサギ	日本	20. 草薺	日本	アサギ	日本
6. カワカサ	日本	21. ヒメジョオン	日本	アサギ	日本
7. アサギ	日本	22. ヒメジョオン	日本	アサギ	日本
8. カワカサ	日本	23. ヒメジョオン	日本	アサギ	日本
9. アサギ	日本	24. ヒメジョオン	日本	アサギ	日本
10. カワカサ	日本	25. ヒメジョオン	日本	アサギ	日本
11. アサギ	日本	26. ヒメジョオン	日本	アサギ	日本
12. カワカサ	日本	27. ヒメジョオン	日本	アサギ	日本
13. アサギ	日本	28. ヒメジョオン	日本	アサギ	日本
14. カワカサ	日本	29. ヒメジョオン	日本	アサギ	日本

いきものも見つけました

陸上		水中	
種名	原産地	種名	原産地
1. ヒメジョオン	日本	1. ヒメジョオン	日本
2. アサギ	日本	2. ヒメジョオン	日本
3. カワカサ	日本	3. ヒメジョオン	日本
4. アサギ	日本	4. ヒメジョオン	日本
5. カワカサ	日本	5. ヒメジョオン	日本
6. アサギ	日本	6. ヒメジョオン	日本
7. カワカサ	日本	7. ヒメジョオン	日本
8. アサギ	日本	8. ヒメジョオン	日本
9. カワカサ	日本	9. ヒメジョオン	日本
10. アサギ	日本	10. ヒメジョオン	日本
11. カワカサ	日本	11. ヒメジョオン	日本
12. アサギ	日本	12. ヒメジョオン	日本




米本さんによるとギンヤンマは大体いつも時速60kmくらいで飛んでいるのだそうです。これは、みんなのクラスで一番足の速い人の2倍くらいのスピードです。100m走なら6秒です。もしオリンピックに出れば、間違いなく金メダルです。

でも本気になるともっとすごくて時速100kmくらい出るそうです。高速道路を走っているクルマくらいですね。虫の中でも一番速いので、なかなか捕まえることはできません。

この小さな身体で、どうやってそんなに速く飛べるんでしょうね。誰か自由研究で取り上げて調べてみてください。



なんと『シャジクモ』が大量に自生していた！
シャジクモは、植物が水中から陸上へ上がる直前の種とわ
れられている。植物学の分野で有名。
そのため、研究対象としては
大変貴重。なのに、なのに、
絶滅危惧種！
なぜか？ 十五中？ ビオトープに大量に
いるから？

米本さんが一番驚いておられたのは、シャジクモという藻
が、たくさん水中に生えていたことです。

「これはニュースですよ！」

少し興奮して米本さんはおっしゃいました。

シャジクモは、植物の進化の中で水中から陸上に上がっていく直前の種類な
のだそうです。そのため、これを研究している先生がたくさんいるそうです。

でも、最近ではだんだん数が減ってきていて、今では絶滅が心配されている
種類だとのことでした。

そんな貴重なシャジクモがいっぱいいるなんて、十五中のビオトープ、すご
いですね。



他にも絶滅が危惧される種が、
・ミクリ

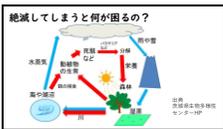
他にも絶滅が心配されている植物がありました。

ミクリという植物です。池の中から生えていました。ミクリ
って名前もかわいいけど姿も『ミクリッ』って感じでかわい
いのです。ぜひビオトープに見に行ってみてください。

可愛らしくて気をつけて見ないと見逃がしてしまいそうです。

絶滅危惧種と言いますが、絶滅してしまうと何が困るので
しょうか。

この図のように、水とか動植物のからだを作るものは、生
態系の中でぐるぐる回っています。



ひとつの生物種がいなくなると、それを食べて生きている生物も食べるもの
がなくなってしまう、減ってしまいます。食物連鎖という言葉を見たことが
あるでしょうか。

だから、たくさんの種類の生物が共存する社会を維持しないといけないとい
うわけです。これを、生物多様性と言います。



どうして絶滅してしまうの？
・原因のひとつに、
外来種の持ち込み
がある。

では、絶滅が起こるのはどうしてでしょうか。

原因のひとつとして、繁殖力の強い植物や動物が外から入っ
てくると、昔からそこにいる動植物は食べられたり、殺され
たり、すみに追いやられてしまったりやがて滅ぼされてしま

います。写真のアメリカザリガニは生きる力が強く、日本のザリガニはどんど
ん減ってしまっています。

人間の世界でも、大きな国が小さな国を攻めて滅ぼしてしまった、そんな歴
史がありますね。強いものだけが生き残る、それはそれは殺伐とした社会で
す。みんなのクラスはどうでしょうか。

動物や植物の世界では、生物多様性が崩れると、食物連鎖のバランスが悪く
なり、結局強かった種も最終的には数が減ることになる場合も多くあります。
人間の社会でも他の人を見下して偉そうにしていると最終的には一人ぼっちに
なってしまうのと似ていますね。人間も動物の一種ですからね、自然の摂理
としてそんな風になってしまうのかも知れません。

さて、15中のビオトープは、昔から日本にいるものと、外国から来たものと、どんなバランスになっているのでしょうか。

次の表で、在来種というのは、日本古来の種ということです。ギンヤンマもシャジクモもミクリも在来種です。外来種は外国から来た種類です。種類はかろうじて在来種の方が多いという結果ですが、外来種は強いので、このままでは在来種が外来種に滅ぼされてしまうかもしれません。

十五中のビオトープはどうかの？

陸上	在来種	55%
	外来種	45%
水中	在来種	75%
	外来種	25%



右は、十五中のビオトープにいる外来種たちです。上の左からホテイアオイ、オオカナダモ、下のインドヒラマキガイ、サカマキガイ、ヒメダカ。これらは外来種です。

他にもたくさんの外来種が入っていました。

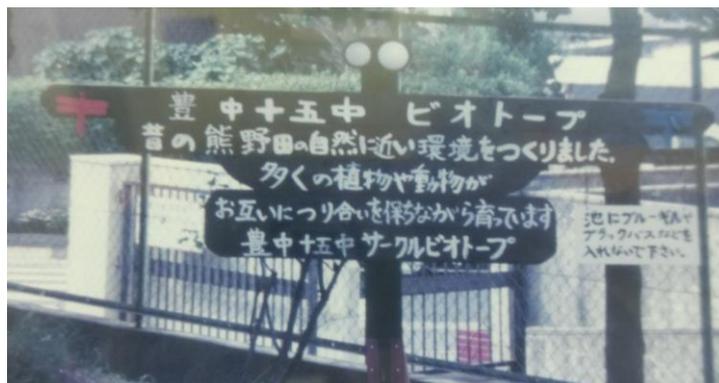
外来種といっても、そいつ自身には悪気もなく、一生懸命に生きているだけかもしれません。

でも在来種を守るためには、場所を分けてあげたりすることが必要になるのです。



十五中のビオトープは創立20周年記念で作られました。その時の立て札には、次のように書かれています。

『昔の熊野田の自然に近い環境を作りました。多くの植物や動物がお互いにつり合いを保ちながら育っています。豊中十五中 サークルビオトープ』
 後ろには『池にブルーギルやブラックバスを入れないでください』と書いてあります。





今はブルーギルやブラックバスはいないけれど、外来の動植物がたくさんビオトープに住んでいます。

昔からの自然の環境を維持するためには、時々ビオトープの手入れが必要になるのです。近々やりたい、と思っています。

もし一緒にやりたい、という人があれば歓迎しますので、校長まで申し出てください。よろしくお願いします。

